株式会社 キンダイ

カ

ーとして世界中で知られる。

キンダイは、老舗の自動機器開発メー

があれば、使い勝手を向上したカスタマ じた最適な刃を選択。コンパクト化の希望 ターであれば、切断する素材の特性に応 てきた。標準仕様を用意しながらも、スリッ

支えるグローバル企業に ミシン開発から先端産業を

和20年。

納期相談 企画力 自信有 オンリー ワン技術





試作可

高速全自動ロールスリッタ-主な事業内容

スリッターやヒートカット機など、 各種自動機器製造·開発

主な取引先(納入先)

フィルム、電子部品、化学製品、 ゴムタイヤ、非鉄金属、建材メーカーなど

主な製品

タオル自動縫製機

半ば以降で、

スリッター、ヒートカット機、

代表者あいさつ



営業本部長 寺内 亮さん

創業以来、顧客に寄り添う製品 開発で「KINDAIブランドの礎」 を築いてきました。チャレンジ 精神を受け継ぎ、100年企業 をめざしながら先進的なIoT 技術を取り込み、革新的な機械 を業界でいち早く市場に投入 します。これからも"近代的 な技術で世界を変えていく"、 すなわち "Today's innovation, Tomorrow's world"の心持ち で取り組んでいきます。

主な保有設備

- ■フライス盤 1台
- ■旋盤 1台
- ■アーク溶接機 1台
- ■精密メタル裁断機 1台
- AutoCAD Autodesk製 3台



住 所/〒598-0001 泉佐野市 上瓦屋189

T E L/072-464-0861 F A X/072-464-0690

業/昭和20年 立/昭和25年6月

資本金/1,900万円

従業員/9名

世界中で愛される 「KINDAIブランド

強み

となっている。

込められているが、常に時代の先を行く な技術で世界を変えていく。という思いが 拡大する。社名のキンダイには "近代的

製品開発は、同社が支持される理由の一つ

当初から顧客に寄り添うものづくりに努め 続けてもらう機械であるからこそ、 顧客との信頼関係にある。同社が扱う各種 自動機器は、メンテナンスにより長く使い キンダイが長年愛され続ける理由は、 創業

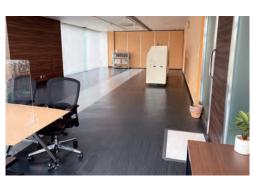
ターに注力し始めたのは1980年代 泉州タオルのほか、今治タオルの生産を タオル業界向け自動縫製機を開発。 の生産自動化に取り組み、わが国初となる 回るようになると、地場産業の泉州タオル ミシンを製造・開発したのが始まり。 ホールの依頼を受け、家庭用および工業用 今日も支えている。現在、主力のスリッ 興が進むにつれて市場にミシンが出 創業者がミシンのオー 非繊維業界を主軸に事業を 創業は 以来、 引き継がれており、 思いは、創業者の孫に当たる寺内亮氏に 説く。このような信頼関係を重視する姿勢 が長いお付き合いになる新たな始まり」と 長く使い続けられるものとしている。その ブランドの礎」となっているのである。 イズ提案で世界に一つの製品に仕上げ 百年 「世界中で長らく愛されるKINDAI 企業 「アフターサービスこそ

IOTリモートメンテナンスで 業界のリーディングカンパニーに

技術: ディングカンパニーであり続けたい」 テナンスの投入は、業界に刺激を与える このような先進的なIoTリモートメン である。機械から発生する振動や音などの ナンスを適切に実施し、故障を未然防止 出ないタイミングで消耗品の交換やメンテ 映像の録画機能を生かして、生産に影響の データを収集して変化点を抽出。カメラ 組み合わせたIoTリモートメンテナンス の投入を始めている。カメラ映像を 令和4年から本格展開している。 アフターサービスにも "近代的な 寺内亮氏は「業界のリ



精密部品の品質検査



展示ショールーム(大阪府泉佐野市)

